

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	基礎セミナー		
英文授業科目名	Freshman Seminar		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	F 全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
ishi@pc.uec.ac.jp	http://tff.pc.uec.ac.jp/www.page/Ishida.html

【主題および達成目標】
<p>量子・物質工学科では、物理学、化学、生物学を用いて、原子・分子・固体などの物質や、光、生命、自然などを対象とした幅広い領域の研究が行われている。基礎セミナーでは本学科で行われている最先端の研究の一部を紹介する。諸君が本学科で何を学ぶことができ、何を研究できるのか、を知ることができるであろう。後半行われる少人数セミナーでは、通常の授業では行えないような各教官の出した特色あるテーマについて勉強できる。少人数で行う授業であるため、教官と身近に接することができ、教官の研究・教育に対する取り組み方や、研究室の雰囲気を知るよい機会となるであろう。また、本学科の授業の理解には基礎的な数学が必須である。そのため、少人数セミナーの中に基礎的な数学演習の時間を設けた。</p>

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
特にありません。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

第1回ガイダンス：基礎セミナー実施方法の説明。副学科長による総括的な講演。量子・物質工学科の紹介など。

第2-5回全体講義：身近な自然現象から最先端の科学技術にいたるまで、量子・物質工学科で行われている研究のトピックスを、4人の教官が1週ずつ講義を行う。各教官にレポートを提出する。

第6-11回少人数セミナー：担当教官が提示するテーマごとに5-7名程度がグループに分かれてセミナー形式で、演習、討論、あるいは実験実習を行う。具体的なセミナーの内容は担当教官によって異なる。基礎的な数学演習もこのセミナーで行なわれる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

出席状況、レポートの内容、受講態度等を総合して評価する。

(b)評価基準

必ず出席し、レポートを提出することをもって合格の最低基準とする。

【オフィスアワー：授業相談】

少人数セミナー担当の教官が適宜応じる。

【学生へのメッセージ】

入学直後の学生諸君の、大学の勉強や研究についてのイメージは漠然としたものでしょう。特に専門領域の研究は最終学年での卒業研究に入って初めて本格的に知ることができますが、基礎セミナーはそれらに触れる最初の機会です。これによって学科の特色を理解し、さらには現代社会における科学の重要性や研究の醍醐味を少しだけ味わってください。また学科の教官と直接交流できる貴重な機会であるので、意欲的に取り組んでください。

【その他】